

# 第7回全国ボッチャ選抜甲子園（決勝大会） 実施要領

令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（特別支援学校を対象とした全国大会の実施事業）」委託事業

## 1 目 的

- (1) パラリンピック正式競技であるボッチャの特別支援学校への定着を図るとともに、大会が日々の学習の成果を發揮する場とする。
- (2) 特別支援学校および特別支援学級等に通学する児童・生徒が、ボッチャを通じて、意欲的に日々の体育学習に取り組めることを目指す
- (3) 大会参加においてマナーの習得および、ボッチャを通じた選手同士の交流を図り、生涯スポーツへの意識を高める機会とする。
- (4) 将来ボッチャ選手として活躍を目指す人材の発掘の機会とする。
- (5) 大会を通して指導者の指導力向上の場とする。

2 名 称 第7回全国ボッチャ選抜甲子園

3 主 催 一般社団法人日本ボッチャ協会

4 後 援 公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会  
東京都、港区、港区教育委員会、公益社団法人日本理学療法士協会

5 協 賛 日本電気株式会社 大塚製薬株式会社

6 協 力 順天堂大学、杏林大学

7 日 時 2022年8月13日（土）

開会式 10:00～ 試合開始 10:20～ 閉会式 16:00～

8 会 場 東京都港区スポーツセンターメインアリーナ（東京都港区芝浦 1-16-1）

## 9 参加資格

- (1) 中学生以上の肢体不自由者であること
- (2) ボッチャ競技を十分に理解していること
- (3) 各校1チームとし、1チームは最大4名までとする（3名+控え選手1名まで）
- (4) 選手・選手関係者エリア、競技エリアに入場できる人数は、下記に限定する
  - ① 選手 3名+控え選手1名まで（最大4名）
  - ② 競技エリアに入場できる監督またはコーチ（教員）1名
  - ③ 競技アシスタント/ランプオペレーター 最大3名
  - ④ 引率教員や介助者 各校2名まで

**合計 最大10名とします。**

- (5) 介助等でこれ以上の人数を必要とする場合は、事前にご相談ください。

10 参加費 無料

ただし、お弁当の注文を希望する場合は、1個700円とし、事前の振込をすること

## 11 開催方法

- (1) 今大会は、有観客で開催しますが、観戦エリアと選手・選手関係者エリアとを分けて開催します。

応援や付き添いの家族、学校関係者は、選手・選手関係者エリアに入場できませんので、ご注意ください。（控室の選手に声をかけに行ったり、差し入れを渡しに行ったりすることはできません。）

- (2) ライブ配信を予定しています。来場できない方は、ライブ配信でご観戦ください。

## 12 競技規則

一般社団法人日本ボッチャ協会編 ボッチャ甲子園競技規則及び下記事項による。

- (1) 競技規則を順守し、スポーツマンシップに則り、正々堂々と戦うこと
- (2) 対戦するすべての参加校に対して互いにリスペクトの気持ちを持ち競技を行うこと
- (3) エンド中に、選手以外からの助言が確認された場合は失格とする

### 13 競技方法

予選会上位8校（シード校2校含む）による、優勝決定戦

- 団体戦（1チーム：3名＋控え選手1名まで）
- トーナメント方式

### 14 抗原検査について

今大会では、参加者すべてに抗原検査の受検を義務付ける。

- (1) 検査費用は、主催者で負担する。
- (2) 大会10日前までに、学校へ検査キットを送付する。（クロネコヤマト便）  
（選手と関係者分あわせて送付する）
- (3) 当日朝に自宅を出発前に検査すること。

陽性反応が出た選手がいる場合、濃厚接触者であるかどうかにかかわらず、チーム全体が棄権となる。

受付で代表教員が、チームのすべての陰性反応が出たキットを提示すること。

提示する際は、ジップロックのような密閉できる袋に入れて提示のこと。

### 15 健康・安全管理

- (1) 参加者は各自の責任において、あらかじめ「かかりつけ医」等の診断を受けるなど、大会参加時の健康管理に留意し、使用している薬物等についても相談、確認をしておくこと。

なお、大会当日体調の悪い選手は、協会医療管理の指示のもとTDの判断により競技への出場を中止させる場合もある。

- (2) 主催者は、この大会期間中の応急措置のみを行う。参加に当たっては、自己の責任において健康と安全については充分留意すること。
- (3) 介助等が必要な参加者は、各学校で対応すること。
- (4) 傷害保険については、主催者において参加者を被保険者とした普通傷害保険（レクリエーション保険）に加入する。
- (5) 新型コロナウイルス感染防止対策については、スポーツ庁、東京都が発出するガイドライン、日本ボッチャ協会ガイドラインに従い実施する。新型コロナウイルス感染症に対する対策については別紙に記載しているので、必ず確認すること。
- (6) 大会中は、適切な水分補給をして、積極的な風邪や熱中症等の予防に心がけること。

### 16 大会開催の判断基準について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による開催可否判断については、基本的対処方針および、公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本パラスポーツ協会発「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、本協会「競技大会開催時における新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」に基づき、スポーツ庁、東京都、港区および本協会にて協議の上、開催可否の最終判断をする。
- (2) 開催可否の最終判断は、2022年7月29日を予定。
- (3) 開催可否の判断（中止）は以下の通りとなる。
  - ① 東京都に緊急事態宣言が発出された場合
  - ② 東京都より開催自粛要請など、何らかの要請が発出された場合
  - ③ 港区および港区教育委員会からの開催自粛の要請があった場合

④ 大会運営スタッフ又は参加者に感染又は濃厚接触者が確認された場合

※対象校のみ出場停止とする場合もある。

⑤ 大会開催に必要なガイドラインに沿った運営が出来ないと判断した場合

(4) 大会中止の判断結果は、全国ボッチャ選抜甲子園のホームページに掲載をする。

また、出場予定校へはメールで通知をする。

(5) 台風等の天候悪化や自然災害による大会中止等の判断については、開催当日の午前6時までに行い、判断結果は全国ボッチャ選抜甲子園ホームページに掲載をする。

(6) 台風等の天候悪化や自然災害による大会中止の判断基準については、以下の通りとなる。

①選手・大会関係者の安全を最優先に考慮し、大会当日または前後において、風等の荒天による競技環境の悪化、交通機関の混乱等に伴い、安全確保が見込めないと判断した場合

②以下の基準を目安とし、開催地の情報を参考に大会本部（実行委員会）が最終判断を行う。

ア) 開催地に警報（暴風雨、洪水）または特別警報が発令されたとき。

※ 大雨警報のみの場合は、実施する場合あり

イ) 開催地に直接に影響する地震が前日、あるいは当日に発生したとき。

ウ) 上記ア) の特別警報または警報が発令されていない場合でも、会場が浸水・崩壊等の被害が出ているとき。

エ) 開催地に被害が発生し、会場が避難先になっているとき。

オ) 荒天による影響で大会の主催者、競技役員および審判員の確保が困難で、大会運営に重大な支障を期すと判断されたとき。

## 17 注意事項

(1) HP 及び SNS、動画配信に関しては、主催者が委託した業者による撮影、配信を行う。

(2) 競技結果や選手権で撮影する写真等は、当協会ホームページ等に掲載する場合及び、障がい者のスポーツに関する広報用として使用する場合があります。また、大会当日、報道機関が取材を行い、写真、映像がテレビ・新聞等で報道されることがあるので承知の上参加すること。なお撮影に際しては、競技の妨げとならないよう留意する。

## 18 誓約項目（下記事項を承諾の上、お申し込みをお願いいたします。）

(1) 主催者において傷害保険に加入するが、その範囲を超える競技中の事故やケガ等の責任については、一切負わない。

(2) 「決勝大会事前アンケート」提出後の、選手の変更は原則認めない。

(3) 大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は、主催者に帰属する。

<問い合わせ先>

全国ボッチャ選抜甲子園実行委員会：[boccia.koshien.jboa@gmail.com](mailto:boccia.koshien.jboa@gmail.com)

(別紙) 第7回全国ボッチャ選抜甲子園における新型コロナウイルス感染症対策について

#### □ 大会前

(1) 選手が、以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。

- ① 体調がよくない場合 (例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は、当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 大会10日前より、体調管理チェックシートへ記入をお願いします。**大会に参加するすべての者が対象者です。**

体調管理チェックシートは、メールでお送りします。大会受付時に代表教員がまとめて提出をお願いします。

※平熱が高い方(37.5度を超える平熱)は、備考欄にその旨ご記入をお願いします。

#### □ 大会期間中

(1) 今大会は有観客での開催となります。観戦者エリアと選手・選手関係やエリアに分けて開催します。選手・選手関係者エリアに入場できる人数に制限があります。

選手・関係者含め**最大10名まで**とします。

「決勝大会事前アンケート」で申請をしていない方は、選手・選手関係者エリアに入場できません。

(2) ご家族等の応援者は、観戦者エリアでの観戦となります。選手・選手関係者エリアに入場することはできません。

(3) すべての参加者は、大会中常にマスク着用をお願いします。

選手については、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを原則としますが障がい上着用が難しい場合は、この限りではありません。(事前アンケートに、その旨記載してください。) マスクを着用しない者は、飛沫防止に配慮してください。

(4) 競技アシスタントは、マスクを常時着用してください。

(5) 朝入館した後は、ご帰宅まで原則退館できません。途中で退館した場合は、再度入館できませんので、ご注意ください。

(6) お弁当の注文は、「決勝大会事前アンケート」で受け付けます。

注文をしない場合は、事前に用意の上ご参加ください。

#### 1. ウォーミングアップ時

(1) ウォーミングアップ時に選手に帯同できる人数を制限する。

各チーム、選手4名と競技アシスタント、監督またはコーチ1名までとする。

(2) 受付の前には、手指消毒をすること。

(3) 選手は、ウォーミングアップ(オンコート)中はマスクを着用しなくてもよいが、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを推奨する。ただし、競技アシスタントはマスクを常時着用すること。

(5) 監督またはコーチは、常時マスクを着用すること。

(6) ウォーミングアップ後、マスクを外していた選手はただちにマスクまたは、フェイス

シールドを着用しなければならない。

## 2. 試合時

- (1) コートは、毎試合終了後にモップ掛けを行う。
- (2) 入場時は、審判、線審、計時、選手及び競技アシスタントは必ずマスクを着用すること。
- (3) 選手は、試合中はマスクを着用しなくてもよいが、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを推奨する。
- (4) 監督またはコーチおよび、競技アシスタントは試合中もマスクを着用すること。
- (5) 審判は可能な限り選手や選手の競技用具に触れないようにし、以下のような対応を行う。
  - ① エンド後のボールの回収は、出来る限り各校で行う。
  - ② 競技アシスタントがいる選手については、エンド開始時のジャックの受け渡しを行う。
- (6) 試合終了後、マスクを外していた選手はただちにマスクまたは、フェイスシールドを着用しなければならない。
- (7) 試合承認サインは、審判が示すスコアシート (iPad) を選手が確認し承諾後、審判が承認ボタンを押す。

## 4. 観戦について

- (1) 今大会は有観客で開催する。
- (2) 選手・選手関係者以外は、観戦者エリアで観戦すること。  
試合を観戦する場合は、大声での声援は控えること。
- (3) 密集して観戦することがないように、フィジカル・ディスタンスに配慮すること。

## 5. 大会期間中の生活について

- (1) 健康チェックシートの提出  
朝検温をして体調管理チェックシートに記入し、大会受付時に代表者がまとめて提出すること。(当日朝の検温について、体温計は各校で準備のこと)  
健康チェックシートを忘れた場合は入館できない。
- (2) 行動の制限
  - ① 会食の制限  
昼食は、弁当などを会場で食す。  
宿泊している学校は、宿泊先での食事のみとし、選手・選手関係者以外との接触は自粛すること。
  - ② 移動の制限  
会場～宿泊先のみ移動とし、目的外の立ち寄り自粛すること。

## 6. 陽性者が判明した時の対応

- (1) 体調不良や発熱者が発生した場合、大会医事担当者の指示のもと対象者は適切に隔離される。対象者のいるチーム(学校)は、棄権となる。
- (2) 開催自治体の保健所へ連絡をし、保健所の指示に従ってその後の対応を行う。
- (3) 対象者と同じチーム内の選手、対象者の競技アシスタント、介助者は、濃厚接触者となる可能性がある。濃厚接触者と判断された場合は、適切に隔離される。保健所へ連絡

をし、その後の対応は保健所の指示に従う。

- (4) 陽性者が発生した場合、以後の大会実施については、保健所や大会医事担当者の意見をもとに大会本部が判断し、適切に対応する。

□ そのほか

- (1) 入館時サーモグラフィカメラまたは、非接触型体温計による体温測定を実施し、発熱症状が認められた方は入場することができません。

チーム内で1名でも、発熱症状が認められた場合は、競技には出られず棄権となるので、予め了承の上参加してください。

- (2) 来場者全員、常時マスクの着用してください。ただし、障がいのある方について、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを原則とするが、障がい上着用が難しい場合は、この限りではありません。マスクを着用しない者は、飛沫防止に配慮してください。

- (3) 会場への往復の移動の際にも、感染対策をとるなど十分に留意してください。

大会期間中は、必要以外の他への立ち寄りや極力控え、学校または、宿泊先と会場の往復のみの移動とするよう、ご協力をお願いします。

- (4) 体育館に入る前に、手指の消毒、靴の裏の消毒、車椅子のタイヤの消毒にご協力をお願いします。

- (5) 床からボールを拾ったらできるだけ手指を消毒して取り組みましょう。手指消毒の前に顔や目、鼻などを触らないようにしましょう。

- (6) 手指消毒をこまめに実施しましょう。

- (7) 適宜水分補給を実施し、熱中症対策にも注意して取り組みましょう。

- (8) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離の確保をお願いします。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)

- (9) 会場の換気、必要に応じて床の清掃を行いますので、ご協力をお願いします。

- (10) 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、指示に従うようお願いいたします。

従わない場合は、競技への参加を中止させる場合があります。

- (11) 大会終了後10日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、協会に対して速やかに報告をお願いします。事務局アドレス jimukyoku@japan-boccia.net

- (12) 万が一、大会期間中に選手や関係者から感染者や濃厚接触者が出た場合は、ご本人や関係者の人権尊重、個人情報保護に配慮いただきますよう、ご協力をお願い致します。

- (13) 可能な限り「接触確認アプリ」を事前にインストールしてご参加ください。

新型コロナウイルスの詳細につきましては、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

**接触確認アプリQRコード3種(iPhone、Android、厚労省ウェブサイト)**

**iPhone**



**Android**



**厚労省ウェブサイト**

